

2015年9月1日

各位

日産化学工業株式会社

心房細動および粗動治療薬に関するライセンス契約の終了について

日産化学工業株式会社〔本社：東京都千代田区、社長：木下小次郎〕（以下、日産化学）は、帝人ファーマ株式会社〔本社：東京都千代田区、社長：宇野 洋〕（以下、帝人ファーマ）およびブリストル・マイヤーズスクイブ社〔NYSE：BMY〕〔本社：米国ニューヨーク州ニューヨーク、CEO：Giovanni Caforio〕（以下、BMS）との新規心房細動および粗動の治療薬および予防薬「NTC-801」に関するライセンス契約を終了し、開発・販売権を含む全ての権利の返還を受けましたのでお知らせいたします。

日産化学は、「NTC-801」の開発を日本では2005年から帝人ファーマと、日本を除く全世界では2009年からBMSと三社共同で行ってまいりました。心房細動患者による臨床第Ⅱ相試験まで実施し、安全性・忍容性に優れた薬剤であることを確認しましたが、それまでに得られた成績および知見をもとに本剤に関する開発方針を三社で検討した結果、開発中止を決定いたしました。

今後、日産化学は非臨床試験、臨床試験等の試験データを使用し、共同開発を実施可能な導出先の検討を進めてまいります。

○NTC-801 について：

「NTC-801」は、日産化学が創製したアセチルコリン感受性カリウムチャンネル（IKACH）を選択的に阻害する物質です（Circulation: Arrhythmia and Electrophysiology. 2011; 4: 94-102）。この作用点は心房のみに存在しており、心房細動などの病態発症との関連が示唆されています。本剤は心房に選択的に作用し心室に作用しないため、一部の抗不整脈薬で見られるような危険な副作用（心室性不整脈の誘発や心臓の収縮を弱めてしまう作用）を引き起こすことなく安全に使用できることが臨床レベルで確認されており、既存の不整脈（心房細動など）の治療体系を変える画期的新薬となることが期待されます。

本件に関するお問い合わせ先

日産化学工業株式会社

経営企画部

TEL：03-3296-8320